

【丸の内・皇居】

8月9日に創英・東京オフィスが銀座から丸の内へ移転して、
3ヶ月ほどが経過しました。
そこで今回は新たな丸の内の東京オフィスの風景と、その周辺
の風景をコラムを交えてご紹介します。



《創英の受付》

受付システムの向こう側
には皇居が広がります。

お客様をお迎える会議室はこのようなお部屋になりました。

《色をテーマとした面談室》



萌黄



橙



紫紺

《プレゼンテーションに適した設備のある会議室》



特別会議室

《眺めも良く、落ち着いた雰囲気の応接室》



応接室

丸の内 MY PLAZA

オールドネーム

創英は丸の内2丁目MY PLAZA内にあります。江戸時代、ここに何があったのか気になり、調べてみました。

「丸の内」ですから、江戸城の曲輪(丸)内。しかも、大名小路という通りもあります。ですから、私は大名だけの居住区域と思っていたのですが、MY PLAZAのある場所に限っては少々違ってました。幕末期の江戸絵図を見ると、ここには定火消屋敷があったようです。定火消屋敷は、江戸城の火災警戒の目的で、大名ではなく、旗本に与えられたものです。

丸の内の定火消屋敷は、敷地面積がMY PLAZAの約3分の2。かなり広い。そこに、旗本や同心らとともに、約200人の臥煙(がえん)と呼ばれる火消人足が居住していました。臥煙というのは、常にはっぴ

一枚とふんどしだけ、全身に刺青を入れた、かなりの乱暴者。そんな輩が、大名の居住区域である丸の内を闊歩していたはずで、気弱な武士がすれ違ったら、なんて想像するだけで楽しくなってしまいます。

さて、この丸の内の定火消屋敷、江戸時代には八代洲河岸定火消屋敷と呼ばれていました。何か気つきませんか。実は、丸の内は八代洲、要するに八重洲だったんです。八代洲は、1600年大分に漂着したオランダ人、ヤン・ヨーステンに与えられた地域ということで付けられた地名です。もっとも、八代州が正しい書き方かということでもなく、文献によっては、八重洲、冶容子、弥養子などとまちまちでした。そのため、明治政府は縁起の良い“八重”洲を採用したようです。現在の八重洲は、昭和29年の町名変更で東京駅東側の旧日本橋地区に移り、旧八重洲地区は通称の丸の内に変更されたそうです。

皇居一周

ぼんちゃんじいちゃん

最近では、皇居一周ランナー向けに、有料のロッカーやシャワー施設が周辺に出来たという。従来から人気のコースで、昼休みや夕方、走る人やジョガー、散歩する者まで多くの男女に利用されている。都心の一等地でありながら、濠沿いに自然の残る一周は、5 kmの距離といい、各勤め先からのアクセスもまたとベストなのだろうが、何と言っても、信号が全くないのが最大の利点であろう。度重なる信号待ちペースを乱して長距離を走るランニングには不都合だ。

若い頃と言っても、30代前半であるが小生も挑んだことがある。長距離走には少し縁があり、中高時代の校内大会ではクラス代表として、駅伝では最長距離を走り、運動会では1500m走に選抜されたこともあった。桜田門下をスタートして、皇居前広

場から内濠沿いに左回りに走る。大手門を経てホテルを右に見ながら、竹橋の新聞社前となる。この辺りから乾門に掛けて緩やかな上り坂となる。傾斜は大したことはないがガラガラ坂は走者には辛い上りである。千鳥ヶ淵、英国大使館前を過ぎて、半蔵門からはコースも終盤に入り、しかも下り坂で、独りでスピードが上がってしまう。警視庁前で左折して桜田門に戻り、ゴールである。小生のタイムは24分から27分であったと思う。中には17分というランナーもいて、高校時代陸上部であったという。土曜日には二周する剛の者もいた。

小生の皇居一周走は三日坊主で終わってしまった。その後、長距離走やジョギングからも遠ざかって久しい。現在では、散歩程度が精々であるが、この度の事務所丸の内移転を機に、久しぶりに一周してみようと思う。

東京発ブエノスアイレス行き

アイアンマン3

「なんちゃって鉄男」の私は、丸ノ内線についてつらつらと書いてみようかと思えます。

銀座線、大阪の御堂筋線・四つ橋線に次いで日本4番目の地下鉄として開業した丸ノ内線ですが、丸ノ内線というとなんとなく環状に走っているような気がしてしまうのは私だけでしょうか？実際は山手線の新宿 - 池袋間が開いたU字型となっているんですけどね。「丸」だからでしょうかね(笑)？

丸ノ内線の特徴の一つとして、丸の内線には、茗荷谷 - 後楽園間、御茶ノ水 - 淡路町間、四ツ谷駅、と地上区間が複数存在することが挙げられると思いますが、地下ばかり走っていて景色の変化に乏しい地下鉄にあって、街中で地上の景色が見られるの

ですごくハッピーな気持ちになりますよね。

また、丸ノ内線は、運転間隔が短いの実感されると思いますが、池袋駅 - 新宿駅間は、平日：朝1分50秒間隔(日本一の高密度運転間隔) 日中4分間隔、夕方2分15秒間隔で運転されているらしいです。どおりで待たなくてすむわけですね。

さらに、丸の内線は、歴史が古いだけあって、地上からホームまでの距離が近くて便利で楽ですよ。丸ノ内線では8m以下の深さの駅が12駅もあるそうです。一方、大江戸線では28m以上の深さの駅が8駅もあるそうです(最深は六本木駅内回りホームの42.3m。アンビリバーボー！通勤にはちょっと・・・)。

おっ！と、まだまだ書き足りませんが、いつの間にか終点に到着です。続きはまた次回に。Hasta Luego(アスタルエゴ)！